

MAKE  
TOYAMA  
STYLE

BEYOND CORONA, WITH US

くらしたい国、富山

# とやまファン 倶楽部

No.34

# 2020



## CONTENTS

リレーエッセイ 33/新居 千秋	2P
会員交流広場	3P
第37回「とやま賞」	4P
きらめき未来塾	5P
富山県からのお知らせ	6P

「富山での出会い」

新居 千秋 さん



プロフィール

新居 千秋(あらい ちあき)  
株式会社 新居千秋都市建築設計  
代表取締役  
1948年 島根県生まれ  
1971年 武蔵工業大学工学部建築学科卒業  
(現 東京都市大学)  
1973年 ペンシルベニア大学大学院芸術学  
部建築学科修士  
1973年 ルイス・I. カーン建築事務所  
1974年 G.L.C(ロンドン市チームズミッド都市  
計画特別局)  
1977-2007年 武蔵工業大学講師  
1979-2010年 東京理科大学理工学部講師  
1980年 新居千秋都市建築設計設立  
1998年 ペンシルベニア大学客員教授  
2008-2012年 東京都市大学教授(旧 武蔵  
工業大学)  
2010-2011年 東京工業大学非常勤講師  
2013-2015年 シンガポール国立大学外部卒  
業判定員  
2013年 - 東京都市大学客員教授



黒部市国際文化センターコラーレ

私は富山県人ではないが、生まれた県より富山県の方が大事にしてくれる。最初は黒部で40歳以下の建築家を集めたデザイン会議に選ばれて富山に来た。当時の市長の荻野さんがその会議を見ていて、組織事務所よりアトリエ派が良いと思つたらしい。それから数年経って、黒部の国際文化館のコンペが行われた。コンペの最終にはアトリエ派の人達を選ばれていた。審査員の池原先生から「君の考えは良く分かるが、本当にそんなにうまく行くのか」と聞かれた時、「出来るかどうか分かりませんが、ベストを尽くすだけです」と言った。内心これで終わったと思ひ、どこにも寄らずに東京に帰った。その数日後に受かったと連絡があった時にはびつくりした。これが日本のプロポーザルコンペの最初であり、日本建築センターが主体であった。

元々のプログラムの内容が多だったので、市政40年のお祝いを1年延期して、ワーショップをやって皆の意見を聞いて本当に街が必要なものを作って41周年をお祝いしましょうと提案した。市長に頼んで、役所の人達にインタビューをして、音楽や絵の好きな人達を選んで下水道局の石川さんや、学校の担当の人を文化会館の担当に

してもらった。現在事務局長の鮫澤さんは給料が低くなるのを奥さんと話して、英語の教師を辞めて参加してくれた。武藤先生はキーボードオーケストラを、亀谷さんは劇団を担当し、活動を始めた。ワーショップで、3つの劇場を作るのを1つにして、能、狂言のための舞台を作ろうということになり、それなら野村万作さんに会いに行こうと、7回くらいご自宅を訪ねて、萬齋さんもやってくれることになった。後年、野村万作さんの文章に「コラーレの野外能舞台は、中尊寺の舞台とともに、私の最も好きな場です。」と書いていただいた時は感動した。仕事をしていくうちに、YKKの吉田さんが私のイギリス時代の友人と慶応で同期で仲が良かったことも分かり、親しくなった。

以前、大分出会ったアドバイザーの政所さんと十数年経って世話人会で再会し、富山に住んでいると聞いた時は驚いた。早稲田の中川先生、尾島先生達とも親しくなった。異なった場所から来た人が出会って、その土地に愛着を持つのが富山だと思う。その後、数年経って中沖知事に呼ばれた。とても緊張感のある人で、最初の10分、15分は何も話さない、興味が無いのかと思つと、ボンボン話し出す。30分の予定がいつも2時間を越えて話し込む。外に出ると各課の人達が次の資料を持って並んでいた。私達は農水省と富山県と合同の「砺波散居村プロジェクト(農村の創造的保全)」のコンペに参加した。建築とは少し違つた総研というところとチームを組むというものだった。私達が親で、色々な創意工夫を発想し、総研がおさえる方が、今まで分析しがちな総研、それを組織事務所がやっても、いつも同じ結果になると主張して、勝つた。

# 会員交流広場

## ～皆様からのメッセージの一部を紹介～

今年度の会員交流会(8月18日(火)※)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ(<http://www.t-hito.or.jp>)に掲載させていただいております。

ニューノーマルは、富山にとって追い風。テレワークが可能ならすべての業務・職種が、快適に実務できる環境を富山に早急に整備すべき。

食に恵まれ、住環境も良く、首都圏、名阪神にも近いという地理的条件も良く、ニューノーマル時代の先陣を切っていくべき。

スポーツを核として産官学の連携による新たな事業の創出、地域活性化により、ブランド向上と経済への波及効果を実現する。

立山・黒部について県庁からの委託で制作したテレビ番組のビデオを取材した折、室堂で夏の雷鳥を間近で見た感激は忘れられない。

富山県が長年にわたって「全国で一番住みたい県」になったように、豊かな自然をいかしながら、社会福祉政策などに力を入れ、日本のスウェーデンと呼ばれるほどになった実績を継続してほしい。

皆様、御元気でしょうか？世界に……新型コロナ感染症。素敵な協力の仕方も、又、心重くなるニュースも共有しております。

私の周りにも「黒部のトロッコ電車に乗った」とか「八尾の風の盆を見てきた」とか富山県に魅力を感じている人は多い。この間はNHKの鶴瓶の番組で「木彫りのまち井波」を身近に感じた。島尾海岸や内川から立山を望む写真なども知られてきたように思われる。

これからも、住みやすく風光明媚で美しい、人々を惹きつける富山県であり続けてほしい。

コロナ禍は、首都一極集中から、地方分散を啓発します。潜在魅力の多い富山県の発展が促進されます。

厳しいコロナ禍の中、今、日本だけでなく世界は大都市からワークライフバランスと産業振興を重ねた“新常态”の社会、地方への注目という変化が急速に進んでいます。自然、生活環境、産業、教育など、総合的に見て富山県は“新常态”の日本でキーになる県であることは間違いなく、「リモート社会、新常态、ワークライフバランスの最先端富山県」をどんどん施策としても打ち出しアピールすべきです。

ずっと、美しい故郷でいてください。

災害も少なく、食べ物も美味しい。是非若手のIT系エンジニアが集まれる地域になって欲しいです。

何と言っても新幹線の開通です。去年は、同期会・クラス会・部活仲間会など、10回以上新幹線で氷見・高岡に出掛けました。本当に富山が身近となりました。しかし、今年はコロナでまだ一度も出掛けておりません。8月には墓参り・ゴルフ会に行く予定です。氷見の民宿での魚料理も大変楽しみです。富山県出身を自慢しています。

凜とそびえ立つ立山の雄姿は忘れません。雪の大谷、シロエビの水揚げ…。

貴重な取材体験は一生の思い出です。また、ゆっくり富山を訪れたいです。

小学生のころ毎年5月、高岡御車山祭に合わせ市内の関野神社の境内でサーカス小屋が建てられた。当時の私にとってサーカスは、大変刺激的で驚嘆した記憶が残る。最近この神社を訪れたところ、敷地が狭く、ここでサーカスが催されたのかと不思議に思った。子どもの心にはサーカスの世界は、大きな大きな宇宙だったのだろう。

※今年度の会員交流会は、新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、誠に残念ながら「中止」とさせていただきます。次回(来年度)の開催時にご出席いただきますことをお願い申し上げます。



「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念し、富山県ならびに日本の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設され、今回で37回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者、または富山県内在住者とし、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において、顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される人に対して、賞状、奨励金を贈呈して、その活動を奨励しております。

今年度の贈呈式は、5月21日(木)に富山電気ビルで行われ、学術研究部門で2名、科学技術部門で1名、文化・芸術部門で2名、スポーツ部門で1組(2名)の計7名の方々が受賞されました。

例年行われる受賞者による記念講演は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、贈呈式に先立って受賞者と石井理事長の懇談が行われ、業績の内容や今後の抱負などを分かりやすくお話しいただきました。

## 第37回受賞者

### 学術研究部門 医薬分野(消化器外科)

大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 助教  
牧野 知紀 氏

術前画像診断による難治性消化器がん個別化医療確立への貢献  
-術前化学療法の新たな効果・予後予測法の開発-



### 学術研究部門 理工分野(光工学)

東北大学多元物質科学研究所 准教授  
小澤 祐市 氏

ベクトルビーム光源の開発と超解像光イメージングへの応用



### 科学技術部門 (高分子材料科学)

富山県立大学工学部 准教授  
遠藤 洋史 氏

表面制御技術を駆使した高分子系多機能性マテリアル群の開発



### 文化・芸術部門 (彫刻)

日展、日本彫刻会、富山県彫刻家連盟所属、会社員  
森田 一成 氏

未来多い若き彫刻家



### 文化・芸術部門 (建築)

富山大学芸術文化学系 准教授  
横山 天心 氏

富山を活性化する建築デザインの探究とその実践



### スポーツ部門 (バドミントン)

トナミ運輸株式会社

保木 卓朗・小林 優吾 ペア(写真左:保木氏、同右:小林氏)

第25回 世界バドミントン選手権大会 男子ダブルス準優勝



選考委員長選考経過報告



石井理事長より贈呈



受賞者と石井理事長との懇談

(公財) 富山県ひとづくり財団で行っている事業をご紹介します。

# きらめき未来塾

子どもたちの発想力や創造力、ユーモアのセンスなど多様な可能性を引き出す目的で、各分野で活躍されている方を講師にお招きし、夏休み期間中に3つの道場を(各2回、お笑いは3回)開催しました。

## 右脳活用道場

漫画創りを通して、柔軟な発想を形にする表現力を育てる

講師: 森 みちこ 先生(漫画家)

森みちこ先生(漫画家)を講師に迎え、漫画創りを通して、自分のアイデアを絵と言葉で表現する手法を学びました。

みんなに読んでもらう作品として仕上げることを体験することで、自分のイメージや思いを伝える絵や言葉の展開、表現方法の難しさ、1つの作品が出来たときの達成感を味わいました。



漫画の描き方について学ぶ



個別指導



一刀切り

## 思考道場

ゲーム感覚で数学的な考え方を磨き、柔らかな思考力・発想力を育てる

講師: 県内小学校教員5名

多くの応募者の中から選ばれた20名の入門者は、ゲームを取り入れた思考活動、実際につくる操作活動などを通して“算数の楽しさ”を体感しました。

★活動内容 一刀切り、仲間集めゲーム、クルリンパ、タングラム



クルリンパ



仲間集めゲーム

## お笑い道場

落語を学び、ユーモアセンスと表現力を育てる

講師: 安野家 仁楽齋 氏(社会人落語家、フリーアナウンサー)

本物の落語を味わい、扇子の使い方や落語を話すときの視線の配り方、しぐさ等を学び、また、実際に高座に上がって自己紹介したり落語のオチを練習したりしました。

お笑い大会では会場に集まった家族の皆さんに、小咄や謎かけを披露しました。



お笑い大会 小噺披露



先生から所作指導



お笑い大会 大喜利紅白戦

## 賛助会員の募集

## ひとづくり財団からのお知らせ

当財団では、学校教育との連携を図りながら元気で創造性豊かな子どもの育成をはじめ、明日の富山県を拓くひとづくりの事業に鋭意取り組んでおります。これらの趣旨にご理解いただき、ご支援、ご協力いただける賛助会員を下記のとおり募集しております。

多くの皆様のご賛同、ご入会をよろしくお願いいたします。



年会費: 法人会員 年一〇 30,000円  
個人会員 年一〇 3,000円

特 典: 機関誌の配布、イベント等の開催案内、各種報告書等の配布

申込方法: 入会いただける方は、財団へご連絡ください。

(☎076-444-2000、E-mail: toyama@t-hito.or.jp)



## 富山県のアフターコロナ時代を見据えた戦略

◇新型コロナウイルス感染症拡大への対応を通じて、次の2点が明確になりました。

① **東京など大都市部への過度な一極集中に伴うリスク**を是正することの重要性が顕在化

- ・大都市において人口密度が高く、集住して日常生活を行うことは、3密(密閉・密接・密集)回避が困難であり、感染症のリスクに対して非常に脆弱であること、また、政治・経済等の中枢機能が大都市部に一極集中していることとのリスクも再認識させられました。

② **感染拡大防止と地域経済の再活性化が進む中で、デジタル・トランスフォーメーション(DX)などによる社会変革が加速化**

- ・人の移動に制約がある中でテレワークやオンライン授業などリモートサービスの活用が進むとともに、一定の評価が得られ、国民の意識変化(働き方改革・地方移住等)につながっています。
- ・新型コロナウイルス感染症対策関連の給付金をはじめ、各種申請・交付手続等を速やかに進めるため、行政手続きのデジタル化・オンライン化など、デジタルガバメントの構築が強く求められています。



### 我が国の社会構造を「**地方分散型**」に変え 真の**地方創生の実現**を図る大きなチャンス

◇アフターコロナ時代の経済社会を構想し、富山県の更なる発展・飛躍に向けた成長戦略を検討するため、有識者等からなる検討会議を設置しました。また、アフターコロナ時代における本県のものづくり産業のあり方についても検討していきます。

#### 「アフターコロナ時代を見据えた経済社会構想検討会議」

● デジタル革命の進展など**アフターコロナ時代を見据えた経済社会のあり方**や

**産業・経済、地域づくり、医療・福祉、教育・文化** など幅広い分野において、

**本県の取り組むべき戦略**について検討

【委員構成】

- ・県内各界各層の代表者
- ・アフターコロナ時代の将来ビジョン・戦略を提示いただける全国レベルの有識者

検討会議のもとに、各分野の将来のデジタル社会を担う  
若手代表者等による**未来戦略PT**を設置(第1回:R2.8.19開催)



(第1回会議 R2.8.3開催)

問合せ——  
富山県総合政策局企画調整室  
TEL:076-444-8916 FAX:076-444-3473

#### 「アフターコロナ時代における富山県ものづくり産業検討会(仮称)」

● テレワークなど3密回避による事業実施に課題が多いものづくり産業分野において、IoT・AI、ロボット、非接触型技術の導入など、Withコロナ、アフターコロナ時代の「**新しいものづくり産業のあり方や目指すべき施策の方向性**」について検討

【委員構成】 有識者、ものづくり産業団体・企業 等

問合せ——  
富山県商工労働部商工企画課  
TEL:076-444-3243 FAX:076-444-4401



## 富山県からのお知らせ ②

### 富山県への移住・Uターン就職を強力サポート! 富山くらし・しごと支援センター

#### ① 移住相談・仕事相談

経験豊富な相談員が、富山県への移住やUターン就職の相談をお受けします。センターへの来訪、メールや電話、オンライン(Zoom)でもサポートします。

#### ② 富山県企業とのマッチング

就職WEBサイト「とやまUターンガイド」で、企業へ応募ができます。経歴を掲載すると、企業からスカウトが届きます。

#### ③ 求人・イベントの情報提供

WEBで富山県内の最新の求人情報が閲覧できます。就職や移住に関するイベント情報もお届けします。

東京	有楽町オフィス 10:00~18:00/(休)月・祝、年末年始 (くらし)080-8870-2456 (しごと)070-2798-7878 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F NPO法人ふるさと回帰支援センター内
	大手町オフィス 10:00~18:30/(休)日・祝、年末年始 (くらし・しごと)0120-108-250 〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2 パソナグループ本部ビル3F(JOB HUB SQUARE)
大阪	大阪オフィス 10:00~18:30/(休)日・祝、年末年始 (くらし・しごと)06-7636-6065 〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町4-1-1 武田御堂筋ビル1F
名古屋	名古屋オフィス 9:30~17:00/(休)土・日・祝、年末年始 (くらし・しごと)090-5171-1460 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル3F(富山県名古屋事務所内)
富山	富山オフィス 9:30~17:00/(休)日・祝、年末年始 (くらし・しごと)076-411-9179 〒930-0805 富山県富山市湊入船町9-1 とやま自遊館2F

東京23区にお住まいの方、  
「移住支援金制度」をご活用ください

単身で **60**万円  
世帯で **100**万円  
起業支援金 **+200**万円

詳細は「とやまUターンガイド」  
をチェック!



問合せ  
富山県総合政策局移住・Uターン促進課  
TEL:076-444-4496  
FAX:076-444-4406

とやま移住・就職総合支援ポータルサイト  
<https://toyama-lifework.jp/>



## 富山県からのお知らせ ③

### 日本橋とやま館



日本橋とやま館は平成28年6月に開館以来、多くのお客様にご来館いただいています。

- 富山ならではの水産・農産加工食品、伝統工芸品などを販売する「ショップフロア」
- 館内の総合案内や富山の観光、定住、Uターン情報などをご提供する「観光交流サロン」
- 富山の銘酒を飲み比べできる「バーラウンジ」
- 旬の富山を味わうことができる「和食レストラン」
- 各自治体の展示イベントや、ワークショップなど富山を体験できる「交流スペース」



5つの機能を持つ首都圏と富山をつなぐ情報発信拠点です。

【日本橋とやま館 基本情報】

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル1F  
TEL:03-6262-2723(代表)



### 富山湾直送 高志の紅ガニ 蟹づくしコースのご案内(5月中旬まで)

和食レストランでは、富山湾直送のブランド蟹「高志の紅ガニ(こしのあかがに)」を堪能できる「蟹づくしコース」をご用意しています。皆さまのお越しをお待ちしています。



※ランチコースのイメージです

〈ランチコース〉(90分) **6,980円(税込)**

〈ディナーコース〉(120分) **11,600円(税込)**

※3日前まで要予約  
※気象状況により入荷できない場合もございます。 ※蟹の刺身は入りません。  
〈ご予約・お問合せ〉03-3516-3011(和食レストラン直通)

ショップフロア・観光交流サロン	10:30~19:30
バーラウンジ	11:00~20:30(20:00L.O.)
和食レストラン	ランチ 11:30~14:30(14:00L.O.)
	ディナー 17:00~21:00(20:30L.O.)

※営業時間については変更となる場合があります。最新情報については日本橋とやま館ホームページをご確認ください。



食べてみられ。

きれいな水と、豊かな大地、

そして、けん命に稲米を

つくる人々が力を合わせて、

おいしいお米ができたんやちや。

ひと口で、うまみとあまみと香りが広がる、

私たちが富山の自慢作。

いっせん、食べてみられ。

うまみ、あまみ、ふと香る。

ほほえむうまさ、富山から。

「富富富」、デビュー！



#### 問合せ先

##### ■事務局

公益財団法人 富山県ひとつづくり財団  
〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階  
TEL076-444-2000 / FAX076-444-2001  
E-mail:toyama@t-hito.or.jp http://www.t-hito.or.jp

##### ■連絡所

富山県総合政策局企画調整室  
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7  
TEL076-444-4493 / FAX076-444-3473

##### 富山県首都圏本部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階  
TEL03-5212-9030 / FAX03-5212-9029

##### 富山県大阪事務所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館3階  
TEL06-6445-2811 / FAX06-6445-2611

##### 富山県名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル3階  
TEL052-261-4237 / FAX052-263-7308